

令和三年度

新潟県立十日町看護専門学校

戴帽式 学校長式辞

新潟県立十日町看護専門学校第一期生三十五名の皆さん、本日は看護の心を引き継ぐ戴帽式を迎えました。誠におめでとうございます。新型コロナウイルス感染症対策にご協力いただきながらご臨席を賜りました。ご両親やご家族の皆様にも心からお祝い申し上げます。

皆さんは第一期生ですので本校における全ての歴史を新しく開いているわけです。その中でも戴帽式はナイチンゲールから引き継いだ長い看護の歴史や文化、そして看護の倫理や哲学を受けとめて看護師になる際の志を誓う大切なイベントになります。本日は皆さんお一人お一人の力強い誓いの言葉を見せていただきました。看護の道を歩む決意をしっかりと表し、どれも立派で心から嬉しく思いました。今日立てた誓いは皆さんにとってとても価値が

あるものだと思います。これからの長い看護師
人生の中では辛いことや迷うことがあると思
います。そんな時に 今日の誓いの言葉を思い
出してください。誓いの言葉は 看護職を目指
そうとした純粹な初心に戻してくれるでしょう。
そして前に進む勇気を与えてくれる魔法の言葉
になると思っています。

さて、皆さんは昨年春の入学から新型コロナ
ウイルス感染症の影響を受けました。世界的で
歴史的な人類の危機 パンデミックに遭遇しま
した。本校でも入学式はじめ儀式の参加者制限
を行うことになり 地元自治体の代表や看護師
の先輩から 祝辞や激励を直接受けられない事
はたいへん残念に思います。

このコロナ禍の制約のように 自分の努力で
は避けられない辛い現実を味わう事は 患者さ
んが病気になるた時に似ています。患者さんの
立場になって考え 寄り添った看護ができるよ
うに この経験を是非活かして欲しいと思いま
す。自分を主張せず 相手に配慮できる人間性
は ケアの本質につながります。

さて、皆さんが引き継ぐ看護の心はナイチンゲールにつながります。昨年 生誕二百年を迎えたナイチンゲールは クリミア戦争に看護師として従軍し 多くの傷病兵を不衛生な環境下で看取りました。一方で 整理整頓され衛生環境が整った病棟では亡くなる方が少なかったので 基本的感染対策の重要性を論文に発表しました。私たちは今 新型コロナウイルス感染症に対し 混雑を避け換気をし マスクを着用し 手指消毒するなど ナイチンゲールの指摘した 基本的感染対策で戦っています。科学の進歩で ワクチン開発は短期間で可能でした。しかし変異株の出現などで簡単に撲滅できません。このように医療は進歩しても容易に解決できない事は多く 平均寿命が延びる反面 医療ニーズは増しています。

皆さんは一年余りの間に 新しい医療や医学、看護学を学びました。加えて コロナ禍により 日常生活を失って 当たり前前の大切さをあらためて知る 恵まれた体験をしました。これら多くの学びから 患者さんへのケアの基本姿勢を

今日の誓いにまとめられたものと思います。

これから本格化する臨地実習は、学んだ知識や誓いを実践する時期になります。学んだ知識や技術に十分ということはなく、不足を学んでください。加えて、医療は不確実で、簡単に正解が見えないと知ってください。そこで、チームが一丸となつて、情報を収集し共有し、情報を積み重ねて評価し判断します。この作業を繰り返し、最善の結果や患者さんの納得に導いていくことが目指す医療の形です。

この間、健康を害した患者さんは常に動揺し時には寄り添うことを拒み、言うべき言葉を失うこともあります。そんな患者さんに寄り添い形に表れていない患者さんの心の傷を癒すことを心がけてください。患者さんが自分を取り戻し、自分の言うべきことに気がつくように心配りをしてください。そんな働きかけに、やがて患者さんは、人への信頼を取り戻し、警戒心や恐怖心から解き放たれ、傍に寄り添った皆さんの存在に感謝するでしょう。そんな心震える経験を夢に見て実習に出てください。

患者さんに注目するためには 日常生活での相手への配慮を実践してください。挨拶や礼儀電話の取次ぎや 面談に際しての相手への気遣いなど 些細で日常的な気配りが 患者さんの心配や困りごとを 患者さんに代わって見つけ出す力になります。患者さんの困難や課題に意識を集中すると いっしか自分の不安を気にすることはなくなっていくものです。私は そんな「患者さんファースト」の心こそ 看護の基本姿勢だと思っています。

そうは言っても 必ず困難な場面に出会うと思います。その時必要なのは 決して諦めない辛抱強さです。そして いっまでも待てる忍耐力です。さらに困難に立ち向かう勇氣と患者さんへの思いだと私は思っています。

人への気遣いは大切ですが 自分へのいたわりも忘れないでください。時には自分の時間を 持ち 完璧でない自分をいとおしむ時間も大切です。

今日は 今ある自分を振り返り、これまで有形無形にご支援をいただきました ご両親様

ご家族様 関係者の皆様にご感謝の念を持つ機会
にしてください。謙虚に感謝する姿勢は 必ず
患者さんに通じる力を増すと私は信じています。
終わりに 本日ここに集まった皆様のご健康
とご多幸を祈念し、学校長式辞といたします。

令和三年九月六日

新潟県立十日町看護専門学校長

塚田芳久